

被爆72年、核兵器のない世界へ大きな一歩

核兵器禁止条約から廃絶へ 声をあげよう

「核兵器は違法」が国際ルールに



1945年8月6日に広島、8月9日に長崎へ原爆が投下されてから72年が経ちました。たった一発の原爆によって、その年の終わりまでに、広島で約14万人、長崎で約7万人もの命が奪われました。

核兵器の使用は人類と文明に対する犯罪です。いま世界には約1万5000発もの核兵器があります。それをふたたび使わせないためには、法的に禁止して、一発残らずなくすしかありません。

7月7日、国連の会議で、核兵器禁止条約が122カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。「核兵器のない世界」の実現へ、歴史的な一歩が踏みだされたのです。

「ヒバクシヤ国際署名」で条約に賛成する政治を

核兵器禁止条約は、核兵器をつくったり、使ったり、使うぞと脅したりすることをすべて禁止しました。また、これらの禁じられた行為を援助し、また援助を求めめることも禁止し、国内に核兵器を置くことに許可を与えることも禁止しました。条約の交渉に核保有国や、日本などその同盟国は参加しませんでした。しかし、禁止条約はすべての国に門戸を開き、核保有国が核兵器をもったままでも入ることも想定しています。



制作：西山進

「核兵器は違法」が国際社会のルールとなつたいま、各国政府の核兵器禁止条約への姿勢が問われます。それぞれの国民が、自国政府が条約に加わるよう、求めることが大事です。

残念なことに、被爆国日本の政府は条約に署名しないと述べています。わたしたち一人ひとりが声をあげなくてはなりません。ぜひ、「ヒバクシヤ国際署名」にご協力ください。(2017.8.6)